



# 駒場の丘

【教育目標】  
 自ら学び 新しい時代を拓き  
 心豊かにたくましく生きる児童の育成

- ・心かよいあう子
- ・まなび合う子
- ・きたえ合う子

第9号 R4.12.05 (月)  
 文責：長山

## 激走！ マラソン大会

絶好のコンディションの中、11月9日（水）に校内マラソン大会を実施しました。業間マラソンや体育の時間のコース試走などを通して練習に取り組みました。本番では、どの子も自分の目標に向かって走ることができました。保護者の皆様に多数お越しいただきました。声援を送ることのできない状況ではありましたが、熱いまなざしが子ども達の背中を押してくれたことと思います。お忙しいところありがとうございました。



【元気よくスタート】

さて、言うまでもなくマラソンは体と心を鍛えてくれます。子ども達の運動機会減少による体力の低下とならないよう、体育の授業だけでなくマラソンに取り組んでいます。取り組み期間を定期的に設けることで、心肺機能を高めるよう努めています。その成果を試す場が今回のマラソン大会です。また、得意な子もそうではない子も、マラソンに向けて目標を立てました。その目標を達成するために自分なりにどう取り組んでいくかを体験することが、大切だと考えています。自分なりにどうしたら目標に近づくことできたのか、あるいは達成することができたのか、そのことを振り返ることが大切です。振り返ったことが、今後の生活の中で次の目標への取り組み方と意欲につながるはずで、今年のマラソンの取組でも貴重な経験をすることができたように思います。

結果については、各学年からのお知らせをもって代えさせていただきます。心身両面で子ども達を支えていただきありがとうございました。

## かかわりの中から学ぶ

新型コロナウイルスへの感染が収まらない中ではありますが、対策を講じながら学びの機会を作っています。子ども達は「人」や「出来事」など具体的なかかわりからこそ、生きた学びがあります。各学年では、かかわりを大切にしながら学習活動を進めることができています。校内だけにとどまらず、関係機関や皆様のご理解とご支援に感謝しております。

今後も経験するだけでなく、活動の振り返りを大切にしながら、学びを深めていきたいと考えています。



【幼・保・小交流の様子】



【豆腐作りの様子】



【ハピ・あお交流の様子】



【企業からSDGsを学ぶ】



【ひまわりの種から学ぶ】



# ♪心ひとつに ハーモニー♪

11月11日(金)、4年生が市内本学発表会に参加しました。当日は、自分たちはできなかった5・6年生の思いも胸に、精一杯の演奏をしてきました。

2学期に入ってから、音楽の時間を使って取り組みました。パート練習や全体演奏だけでなく、一人一人が良い演奏を目指して努力を重ねてきました。その成果を文化センターホールで存分に発揮することができました。子ども達の耳や心には、友達と合わせた音の心地よさが残ったことでしょうか。「誰かと合わせること」それは、大変なことだと気づいたはずですが、自分だけでなく、相手を思いやることの素晴らしさを改めて学んだことと思います。この経験が、来年高学年となった時に大きな力として発揮してくれることを信じています。



## 情報モラル教室 便利なツールとして使うために

11月24日(木)一関市教育委員会 ICT アドバイザー鈴木利典先生をお招きし、PTA 研修部主催の「情報モラル研修会」が行われました。保護者の皆さんはご自身のスマホを使い、6年生の子ども達はタブレットを使いながらインターネットの怖さと、それに依存してしまうことの怖さも学びました。各御家庭では「居間8ルール」に取り組んでおられることと思います。タブレットやスマホは、学びを深めるだけでなく関係性も深めることができる便利なツールです。ただ、使い方によっては逆のこともあり、その点が懸念されているところでもあります。今後子ども達がタブレットの持ち帰りを行い、学習に使うことになります。その際には、学校での指導はもちろんですが、ご家庭の見守りや声かけも非常に大きな力となります。この機会に「なぜルールがあるのか」「使う時間」など、「居間8ルール」と合わせてご家庭で話し合う機会をもっていただければ幸いです。



【情報モラル教室の様子】

## ある日の出来事から・・・

縦割り班が新しくなりました。するとこんな話を聞きました。低学年の子が、悲しいことがあったというのです。その理由が、同じ縦割り班のリーダーと別の班になってしまったからだそうです。その子にとって、どれほど優しくしてもらったのでしょうか。どれほど楽しかったのでしょうか。どれほど良い思い出になったのでしょうか。きっとこのような思いをした子ども達がまだまだいるはずですが、そして、自分が高学年になった時に下級生に同じように接してくれることでしょう。



【縦割り遊びの様子】